第4次柏市生涯学習推進計画
（令和6年度進捗状況・主な事業）

資料6

第4次柏市生涯学習推進計画は，外部の有識者を含む附属機関に，計画の進捗を報告するとともに，意見を聞きながら，計画的かつ効果的に推進を図っていきます。
進捗管理及び評価については，主な事業について毎年度進捗確認を行い，中間評価では全ての事業についての進捗確認の結果から，計画への位置づけ変更や新たな事業の位置付けを含む検討を行います。
最終年度には各事業の指標達成度及び本計画の目指す方向性の観点から総合的に評価し，次期計画につなぎます。

各事業の総合評価につきましては，3段階で示しています。

総合評価	達成度
◎	かなり達成できた(80～100%)
○	ある程度達成できた／ あまり達成できなかった(50～79%)
△	達成できなかった(0～49%)

ステップごとの総合評価の分布

「はじめるきっかけ」を支援

◎	1	○	3	△	0

「もっと知りたい，つながりたい」を支援

◎	2	○	7	△	0

「ひろく伝えたい」を支援

◎	3	○	1	△	0

情報提供による学びの支援

◎	1	○	2	△	0

計 （20事業中）

◎	7	○	13	△	0

1 「はじめるきっかけ」を支援

A あらゆる世代が参加できる様々な学びの提供

B 障害の有無，言語や時間・経済的制約に関わらず，共に学ぶ環境の充実

事業名	担当課	実現へのアプローチ（計画への位置付け）
・障害理解推進事業	障害福祉課	A,B
・かしわフレイル予防ポイント	地域包括支援課	A
・学校支援ボランティア	学校教育課	A
・夏ボラのススメ	社会福祉協議会	A,B,F

2 「もっと知りたい，つながりたい」を支援

C 団体同士・学ぶ人同士の交流

D 大学や民間事業者との連携

E より深い学びへの発展

・市民活動講座	市民活動支援課	E
・障害者活動センター運営事業	障害福祉課	C
・福祉喫茶コーナーの運営	障害福祉課	C
・ママパパサロン	母子保健課	C
・地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	C
・放課後子ども教室	アフタースクール課	D,E,F,G
・分館活用事業	図書館	C,E
・地域アーカイブ事業	図書館	C
・地域学校協働活動	学校教育課	C,D,E

3 「ひろく伝えたい」を支援

F 人材の育成

G コミュニティの育成

H 行政機関の連携

・地域活動支援補助金	市民活動支援課	G
・地域づくり事業	中央公民館	F,G
・地域学校協働活動推進員の養成	学校教育課	F
・地域いきいきセンター	社会福祉協議会	A,C,G

4 情報提供による学びの支援

・子育て支援情報提供事業	こども政策課	**情報提供**
・生涯学習情報提供システム	生涯学習課	**情報提供**
・ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	生涯学習課	**情報提供**

第4次柏市生涯学習推進計画（令和6年度進捗状況）　主な事業

番号	事業名	担当課
①-1	障害理解推進事業	障害福祉課
①-2	かしわフレイル予防ポイント	地域包括支援課
①-3	学校支援ボランティア	学校教育課
①-4	夏ボラのススメ	社会福祉協議会
②-1	市民活動講座講座	市民活動支援課
②-2	障害者活動センター運営事業	障害福祉課
②-3	福祉喫茶コーナーの運営事業	障害福祉課
②-4	ママパパサロン	母子保健課
②-5	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課
②-6	放課後子ども教室	アフタースクール課
②-7	分館活用事業	図書館
②-8	地域アーカイブ事業	図書館
②-9	地域学校協働活動	学校教育課
③-1	地域活動支援補助金	市民活動支援課
③-2	地域づくり事業	中央公民館
③-3	地域学校協働活動推進員の養成	学校教育課
③-4	地域いきいきセンター	社会福祉協議会
④-1	子育て支援情報提供事業	こども政策課
④-2	生涯学習情報提供システム	生涯学習課
④-3	ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	生涯学習課

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">障害理解推進事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">障害福祉課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">・障害の有無にとらわれず誰でも参加できる場を提供し，障害理解を育む活動に取り組む。
・障害理解・啓発イベントの実施や，障害のある人が各種講座等に安心して参加できるように，手話通訳者の派遣やヒアリングループの貸出などを行うもの。</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td>A・B</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">「はじめるきっかけ」を支援</td></tr>
<tr><td>「はじめるきっかけ」への効果</td><td colspan="5">・障害の有無に関わらず参加できる場を提供することで，差別の解消を図り障害理解を深めるきっかけになる
・「障害」への理解促進・意識啓発を図ることで，「共生」の意識づくりのきっかけになる</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="5">ボランティア養成講座，読書バリアフリー法関連事業，障がい者スポーツ推進連絡会事業，
障害者活動センター運営事業，福祉喫茶コーナーの運営事業，生涯学習まちづくり出前講座</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="5">・前年度に引き続き障害者活動センターで活動する団体（当事者団体・ボランティア団体）と協働して，障害者週間のイベントを実施。
・手話通訳者派遣や各種講座の開講，ヒアリングループ貸出も継続して行った。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td>理由・効果</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td>指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td colspan="2">実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td>障害者理解イベントの開催件数</td><td>10件</td><td>25件</td><td colspan="2">16件</td></tr>
<tr><td>手話通訳者・要約筆記者派遣件数（延べ）</td><td>612件</td><td>770件</td><td colspan="2">711件</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="3">団体と協働したイベントの実施について，イベント数，参加者数とも増えたことは評価できる。一方で参加団体はそれぞれにイベントを実施しており，今後は団体同士が協働してのイベントとなるよう工夫が必要である。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">かしわフレイル予防ポイント</td><td>担当課</td><td colspan="2">地域包括支援課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">市が指定する健康づくりやボランティア活動に参加することで，本制度専用の電子マネーWAONカードにWAON加盟店で利用できるポイントが貯まる。</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td>A</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">「はじめるきっかけ」を支援</td></tr>
<tr><td>「はじめるきっかけ」への効果</td><td colspan="5">ポイントを貯めることをきっかけとして，健康づくりやボランティア活動により多くの市民が参加する効果が期待される。</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="5">学校支援ボランティア，地域学校協働活動，放課後子ども教室，地域いきいきセンター，市民活動講座</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="5">かしわフレイル予防ポイントカード制度について，カード方式を終了し，新たにアプリ方式を導入することとなった。令和6年度は制度変更について，市民や活動団体，関係課等への周知を進めた。またアプリのインストールを支援する会を実施することで，高齢者のアプリへの移行を促した。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>有り</td><td>理由・効果</td><td colspan="3">ポイント付与端末の不足や制度運用維持費を確保するのが困難なため，かしわフレイル予防ポイントカード制度を終了し，かしわ健康アプリ「ワニFit」を導入することとなった。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td>指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td colspan="2">実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td>かしわフレイルポイントカード発行枚数</td><td>2,044枚</td><td>10,000枚</td><td colspan="2">25,539枚</td></tr>
<tr><td>対象事業数</td><td>150</td><td>250</td><td colspan="2">883</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="3">指標である「対象事業数」，「発行枚数」ともに目標値を上回ったため。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">学校支援ボランティア</td><td>担当課</td><td>学校教育課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">小中学校において，地域ボランティアが参画する様々な支援活動。</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td>A</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="2">「はじめるきっかけ」を支援</td></tr>
<tr><td>「はじめるきっかけ」への効果</td><td colspan="4">できることをできるときにできる人が学校支援ボランティアを始めることにより，学校への支援につながり，自身の生きがいとなる</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="4">かしわフレイル予防ポイント，地域学校協働活動，地域学校協働活動推進員の養成</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="4">学校行事の運営，交通安全指導，授業援助等様々な教育活動が学校支援ボランティアに支えられながら実施された。
学校運営協議会が必要な人材との連絡・調整に寄与しており「地域とともにある学校」の構築が進んでいる。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td>理由・効果</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td>指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td>実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td>支援を受けた学校数</td><td>53校</td><td>63校</td><td>42校</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="2">数値算出基準の変更（令和5年度の実績から地域の取り組みに限定した数値を計上）により，支援を受けた学校数は減少となったが（例年と同基準の場合は53校），ボランティア登録数・述べ活動人数は増加しているため。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">夏ボラのススメ</td><td>担当課</td><td colspan="2">社会福祉協議会</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">小～高校生向けボランティア活動情報誌。時間のある夏休みに特化したボランティア体験。</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td colspan="2">A・B・F</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">「はじめるきっかけ」を支援</td></tr>
<tr><td>「はじめるきっかけ」への効果</td><td colspan="6">ボランティア体験を通じて、福祉分野に対する知識と理解を深めることができる。</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="6">地域いきいきセンター</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="6">kintone、formbridgeを用い、ボランティア受け入れ施設・団体の情報収集、ボランティア活動者の情報収集を行い、負担軽減に寄与することが出来た。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td>理由・効果</td><td colspan="4">－</td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td colspan="2">指　標</td><td colspan="2">基準</td><td>目標（R7年度）</td><td>実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td colspan="2">体験者数</td><td colspan="2">600人</td><td>700人</td><td>913人</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>◎</td><td>評価の理由</td><td colspan="4">ボランティア活動者が大幅に増え、夏ボラ期間終了後も学生を活動につなげることが出来た。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">市民活動講座講座</td><td>担当課</td><td colspan="2">市民活動支援課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">外部講師等による市民活動のためのスキルアップ講座</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td>E</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">「もっと知りたい，つながりたい」を支援</td></tr>
<tr><td>「もっと知りたい，つながりたい」への効果</td><td colspan="5">講座への参加を通して，市民活動団体の運営基盤の強化や団体同士の交流につながる。</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="5">かしわフレイル予防ポイント，地域活動支援補助金</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="5">R6年度は市民活動講座を5回開催。活動を活性化する組織運営のコツ，助成金獲得のための基本，ICT，会計・労務，CANVAを使った広報・チラシ作りをテーマに講座を開催。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td>理由・効果</td><td colspan="3">年度ごとで開催回数・テーマに変動があるが，趣旨・目的は変更なく継続的に実施することで，団体の運営基盤強化に努めている。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td>指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td colspan="2">実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td>参加団体数</td><td>50団体</td><td>100団体</td><td colspan="2">44団体</td></tr>
<tr><td>参加人数</td><td>100人</td><td>150人</td><td colspan="2">55名</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="3">今年度は，参加対象を“市民活動や地域活動を行う団体（団体に所属する市民）”に限定し，より専門性が高く実習的な要素を重視した講座を開催した。結果，基準まで届かなかったが，各講座とも参加者からは満足度の高い感想が寄せられた。特に「助成金獲得のための基本」「CANVAを使った広報チラシ作り」講座は，団体課題に直面したテーマ設定にしたことで，関心が高く多くの方々に参加していただいた。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">障害者活動センター運営事業</td><td>担当課</td><td>障害福祉課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="4">教育福祉会館リニューアルに伴い，新たに設置した障害者等の社会参加及び福祉の向上を目的として，障害当事者や家族，支援者等の活動の拠点となる場</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td>C</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="2">「もっと知りたい，つながりたい」を支援</td></tr>
<tr><td>「もっと知りたい，つながりたい」への効果</td><td colspan="4">・障害当事者や支援者等が活動を通して，当事者間の交流や障害理解を深める
・障害者等が活動センターにおけるイベント等に参加することで，障害理解や社会参加につながる</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="4">障害理解推進事業，交流型講演会</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="4">・新規登録団体はなし
・団体間の情報交換や交流を目的としてR5年度より団体ミーティングを開始
・障害者週間における理解啓発イベントにおいて，登録団体が協働してイベントを実施</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td>理由・効果</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td>指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td>実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td>センターの稼働率</td><td>－</td><td>50%</td><td>49.9%</td></tr>
<tr><td>センターでのイベント実施数</td><td>－</td><td>24</td><td>4</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="2">稼働率が6割近くなる月もあるなど，一定の認知度は得られたと思われる一方，センターでのイベント数はまた多くなく，単なる貸し部屋ではなく，障害者の居場所となるような仕掛けづくりが十分で無かったため。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">福祉喫茶コーナーの運営事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">障害福祉課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">障害者雇用や就労体験，障害理解の推進を図る場となるよう，福祉喫茶の管理運営を行う</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td colspan="2">C</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">「もっと知りたい，つながりたい」を支援</td></tr>
<tr><td>「もっと知りたい，つながりたい」への効果</td><td colspan="6">・喫茶コーナーで働く障害者が就労体験を通して，社会参加につながる
・喫茶コーナーを利用する方が従業員とのふれあいを通して，障害理解につながる</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="6">障害理解推進事業</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="6">・障害者の就労の場として，年間約340人の障害者が利用。
・ラコルタ柏フェスティバルへの出店を始め，ラコルタ柏で実施するイベントへの協力を通じて，イベント参加者への周知を行った。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td>理由・効果</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td colspan="2">指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td colspan="2">実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td colspan="2">就労した障害者の数（延べ）</td><td>－</td><td>480人</td><td colspan="2">336人</td></tr>
<tr><td colspan="2">喫茶利用者数（年間）</td><td>－</td><td>20,000人</td><td colspan="2">18,188人</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="4">新型コロナウイルス5類移行に伴い，就労する障害者数は増加したものの，喫茶利用者が思うように伸びなかった。</td></tr>
</table>

事業名	ママパパサロン		担当課	母子保健課
事業概要	妊娠期に必要な知識や健康づくりの啓発及び地域での子育ての仲間づくりを行う。			
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい，つながりたい」を支援	
「もっと知りたい，つながりたい」への効果	・妊娠期から，両親で子育て等の知識を得る機会となり，不安の解消や更なる学習意欲，両親での主体的な育児の実施につながる。 ・地域における子育て家庭の交流の機会となり，孤立予防，育児の仲間づくりにより安心につながる。			
連携・関連事業	地域子育て支援拠点事業			
R6年度の取組	妊娠20週以降の初産婦とそのパートナーを対象にオンライン形式で年6回開催。内容は，助産師，栄養士，歯科衛生士の講話と，ビデオ鑑賞，先輩ママパパへの質問，柏市の子育て支援事業や母子保健事業の紹介を実施した。令和6年度に開設した子ども・子育て支援複合施設における妊婦向け啓発コーナーを作成。母子衛生研究会の許可を得て沐浴動画を閲覧できるよう整備した。また，メンタルヘルス予防および対処に関するリーフレットを作成し，参加者および課内への周知を図った。父子手帳コンパクト版のデータ配布と配架を実施した。			
R5年度からの変更	無し	理由・効果		
進捗状況（数値が適さない場合は説明も可）	指　標	基準	目標（R7年度）	実績（R6年度）
	参加人数	288人	480人	282人
	知り合いになれた割合（アンケート）	20%	25%	オンライン形式のため実施なし
総合評価	○	評価の理由	オンライン開催のため，参加者同士の交流は難しいが，サロン予約時に質問事項を募集。子育て支援拠点を利用している先輩ママパパの中継を取り入れて質問への回答や地域の資源の活用に繋がる内容を取り入れた。	

事業名	地域子育て支援拠点事業		担当課	子育て支援課	
事業概要	地域ぐるみの子育て支援。育児講座や子育て等に関する相談，子育て親子の交流及び子育て関連情報提供の場				
計画への位置付け	C	主な事業の位置付け	「もっと知りたい，つながりたい」を支援		
「もっと知りたい，つながりたい」への効果	子育ての当事者である乳幼児の保護者同士が支え合い，子ども同士も育ち合う関係をつくることができる。				
連携・関連事業	みんなの子育て広場，ママパパサロン				
R6年度の取組	R5.9月末の「はぐはぐひろば若柴」の休止を経て，R6.2月に「はぐはぐひろば柏たなか」として事業を再開したことにより，子育て中の親子の交流等の場として機能したことから利用者の大幅増につながった。 一方，施設が混雑する機会が増加したため，入場制限や時間制限を実施し，ひろばの安全管理を図った。				
R5年度からの変更	無し	理由・効果			
進捗状況 （数値が適さない場合は説明も可）	指　標	基準	目標（R7年度）	実績（R6年度）	
	はぐはぐひろば利用者数	29,616人	31,896人	46,023人	
総合評価	◎	評価の理由	子育て世帯の人口流入が続く柏たなか地域に「はぐはぐひろば」を開設したこと及びコロナ禍を経て，親子同士の交流が回復したことにより，両ひろばともに利用者が大幅に増加した。		

事業名	放課後子ども教室		担当課	アフタースクール課
事業概要	地域ボランティア等の参画による小学校の余裕教室を活用した放課後の学習支援等を行う他，夏休み中は学校や企業等との連携による体験講座を実施			
計画への位置付け	D･E･F･G	主な事業の位置付け	「もっと知りたい，つながりたい」を支援	
「もっと知りたい，つながりたい」への効果	・市民や地域団体等が小学生の放課後活動の支援に継続的に関わることで学校との連携につながる ・学習支援等に参加するボランティアは，活動を通して子どもとの関わり方に対する興味が広がる			
連携・関連事業	地域学校協働活動，青少年教育事業，地域アーカイブ事業，かしわフレイル予防ポイント			
R6年度の取組	児童の学習習慣の定着，学力向上を図る学習会や，知的好奇心を引き出す体験教室，見守りの中で自由に過ごすことのできる居場所型の放課後子ども教室を，新たにモデル校で実施した。			
R5年度からの変更	有り	理由・効果	新たにゆるやかな見守りの中で自由に過ごせる，居場所型の放課後子ども教室を実施した。	
進捗状況 （数値が適さない場合は説明も可）	指　標	基準	目標（R7年度）	実績（R6年度）
	参加児童数（延べ）	45,000人	56,000人	37,513
	参加ボランティア数（延べ）	8,000人	10,000人	7,427
総合評価	○	評価の理由	ステップアップ学習会の参加者数は横ばいであるものが，10月から新たに居場所型のモデル事業を開始し，1日に平均20名程度の児童が参加している。また地域人材の協力のもと，体験プログラムを週に1回程度実施し，子どもの多様な体験の機会を創出した。 今後は，現行の放課後子ども教室を取り込みながらこどもルームと一体的に運営する「アフタースクール事業」に向け，引き続きこどもの居場所づくりを進めていく。	

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">分館活用事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">図書館</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">図書館分館を地域の情報拠点・交流の場として活用する。</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td colspan="2">C・E</td><td colspan="2">主な事業の位置付け</td><td colspan="2">「もっと知りたい，つながりたい」を支援</td></tr>
<tr><td>「もっと知りたい，つながりたい」への効果</td><td colspan="6">人と人がつながることで，新たな価値がうまれたり，新たな創造活動が期待される。</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="6">交流型講演会，地域いきいきセンター，地域づくり事業</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="6">地域情報コーナーがある既存館の更新だけでなく，根戸分館で「高射砲連隊訓練棟」，藤心分館で「カタクリ群生地」をテーマに新設した。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td colspan="2">理由・効果</td><td colspan="3">地域の再発見や地域住民の交流，地域への愛着などの醸成につながることが期待される</td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td colspan="2">指　標</td><td>基準</td><td colspan="2">目標（R7年度）</td><td>実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td colspan="2">対象とする分館数(延べ)</td><td>－</td><td colspan="2">10館</td><td>7館</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td colspan="2">評価の理由</td><td colspan="3">地域情報コーナーを2か所新設したことで，地域住民や団体との協働・連携を進めるための下地作りができた。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">地域アーカイブ事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">図書館</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">柏市を創ってきた近現代の活動を記録した地域資料や，市内でのみ流通する発行物など，いま収集しなければ失われてしまう資料等を収集し，整理・保存していく。</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td>C</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">「もっと知りたい，つながりたい」を支援</td></tr>
<tr><td>「もっと知りたい，つながりたい」への効果</td><td colspan="5">・世代交代等で失われてしまう地域資料や情報等を地域で共有していくことで，地域への愛着が生まれることが期待される。
・個人の持つ知識や体験が事業活動を通じて共有されることで，更なる学びに繋がることが期待される。</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="5">交流型講演会，放課後子ども教室，地域づくり事業</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="5">地域情報コーナーがある分館の地域住民や団体だけでなく，学校への提供を前提としたデジタル教材の作成において市民団体の連携を深めた</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td>理由・効果</td><td colspan="3">地域の再発見や地域住民の交流，地域への愛着などの醸成につながることが期待される</td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td colspan="2">指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td>実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td colspan="2">活動に関わった人数(延べ)</td><td>－</td><td>100人</td><td>139人</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="3">昨年度に続いて，地域住民や団体との協働・連携を進めることができた。</td></tr>
</table>

事業名	地域学校協働活動		担当課	学校教育課
事業概要	幅広い地域住民等の参画を得て，地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに，「学校を核とした地域づくり」を目指して，地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動			
計画への位置付け	C・D・E	主な事業の位置付け	「もっと知りたい，つながりたい」を支援	
「もっと知りたい，つながりたい」への効果	学校で子供たちの成長のために，地域が学校に関わることにより，地域が学校の様子を知り，学校での活動を通じて，活動する人同士がつながる			
連携・関連事業	放課後子ども教室，かしわフレイル予防ポイント，こずっち会議，みんなの子育て広場，学校支援ボランティア，地域学校協働活動推進員の養成			
R6年度の取組	各学校運営協議会委員にて協議し，①社会に開かれた教育課程の実現，②教職員の業務負担軽減を目的に，各学校・協議会にとって優先度が高いと判断された地域学校協働活動を企画・実施した。			
R5年度からの変更	無し	理由・効果		
進捗状況（数値が適さない場合は説明も可）	指　標	基準	目標（R7年度）	実績（R6年度）
	学校運営協議会での話し合いから地域学校協働活動につながった学校数	0校	63校	57校
総合評価	◎	評価の理由	①社会に開かれた教育課程の実現に「つながった・ある程度はつながった」と答えた学校が87%，②教職員の業務負担軽減「つながった・ある程度はつながった」と答えた学校が63%となったため	

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">地域活動支援補助金</td><td>担当課</td><td colspan="2">市民活動支援課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">地域活動や地域課題の解決を図ろうとする団体の支援</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td>G</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">「ひろく伝えたい」を支援</td></tr>
<tr><td>「ひろく伝えたい」への効果</td><td colspan="5">地域活動や地域課題の解決を図ろうとする団体を支援することで地域内のコミュニケーションが活性化し，よりよいコミュニティの醸成につながる。</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="5">市民活動講座</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="5">①後期応募として，従来前年度に申請を受け付けていたものを，R6年度に入ってから追加で募集した
②申請ハードルが高いと要望があったことから，申請書類を見直し簡略化を図るとともに，負担が大きいとされていたプレゼンテーションによる審査から書類審査に変更した
③地域のICT化を推進するために，従来ICT推進としていたものをICT環境整備に名称変更し，地域コミュニティの活性化を前提としない，備品購入も認めるよう制度を変更した。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>有り</td><td>理由・効果</td><td colspan="3">20以上の団体から事前相談の要望があった</td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td>指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td colspan="2">実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td>補助団体数</td><td>12団体</td><td>12団体</td><td colspan="2">9団体</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>◎</td><td>評価の理由</td><td colspan="3">事前相談の件数増加とICT分野の申請が10団体中8団体と地域のニーズを汲み取れたことから。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">地域づくり事業</td><td>担当課</td><td colspan="3">中央公民館</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">地域が抱える様々な課題を，専門的な視点から掘り下げ関心を高め，課題解決に役立てる。</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td colspan="2">F・G</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">「ひろく伝えたい」を支援</td></tr>
<tr><td>「ひろく伝えたい」への効果</td><td colspan="6">地域が抱える様々な課題への取り組みの過程と成果をひろく伝えていくことで，取り組みに参加していない方々の今後の参加や，取り組みを行っていない地域へ取り組みの魅力をアピールする。</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="6">地域アーカイブ事業，分館活用事業，地域いきいきセンター，地域学校協働活動推進員の養成</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="6">西原地域：知ることからはじまる　私のまちin西原</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>有り</td><td>理由・効果</td><td colspan="4">風早南部地域：風早南部かるたについては，講座を経てふるさと協議会中心に自主活動へ移行する体制が整ったため，R6年度の取組みからは外れている。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td colspan="2">指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td colspan="2">実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td colspan="2">取組を行っている地域（延べ）</td><td>1地域</td><td>6地域</td><td colspan="2">1地域</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="4">地域における生涯学習を支援した講座により，地域活動への参画の繋がりを一定程度確認することができたため。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">地域学校協働活動推進員の養成</td><td>担当課</td><td colspan="2">学校教育課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">小中学校において，地域ボランティアが参画する様々な支援のまとめ役の育成。学校と地域をつなぐ役割を担う。今後，地域学校協働本部が立ち上がった際には，より広い活動を行う推進員が学校と地域の協働を支えていく。</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td>F</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">「ひろく伝えたい」を支援</td></tr>
<tr><td>「ひろく伝えたい」への効果</td><td colspan="5">地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員を養成することにより，より多くの学校の情報が，より多くの地域の方へ届き，学校支援を始めるきっかけとなり，継続的に学校と地域の協働を支えることができる</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="5">地域づくり事業，学校支援ボランティア，地域学校協働活動</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="5">年3回の地域学校協働活動推進員養成講座を実施。推進員候補者に向け，推進員としての役割を伝え協力を依頼したほか学校で行われている地域協働活動の視察研修を行った。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td>理由・効果</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td>指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td colspan="2">実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td>推進員の委嘱数</td><td>－</td><td>26人</td><td colspan="2">37人</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>◎</td><td>評価の理由</td><td colspan="3">今年度より37名の地域学校協働活動推進員を配置し目標値を超えた。また，令和6年度地域学校協働活動推進員養成講座には30名の推進員候補者が受講した。</td></tr>
</table>

事業名	地域いきいきセンター		担当課	社会福祉協議会
事業概要	地域づくり・子育て・障害者・高齢者支援等の充実を図るため，近隣センターを拠点として，身近な福祉の相談窓口を設置する。			
計画への位置付け	A・C・G	主な事業の位置付け	「ひろく伝えたい」を支援	
「ひろく伝えたい」への効果	複合的な生活課題の悩みについて、市民が気軽に相談に行くことができる場所が増える。			
連携・関連事業	分館活用事業，地域づくり事業，かしわフレイル予防ポイント，夏ボラのススメ			
R6年度の取組	市内11ヶ所目の窓口として風早北部地域いきいきセンターを開所した。また令和7年度の高田・松ケ崎地域での新規開設を目指し、関係課及び地域との調整を進めた。			
R5年度からの変更	無し	理由・効果	―	
進捗状況（数値が適さない場合は説明も可）	指　標	基準	目標（R7年度）	実績（R6年度）
	設置数	7	12	11
総合評価	◎	評価の理由	計画通りに窓口を開所することができ、身近な窓口で市民が気軽に相談できる場所が増えたため。	

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="2">子育て支援情報提供事業</td><td>担当課</td><td colspan="2">こども政策課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="5">子育てに関する制度やイベント，支援団体情報などを子育てサイトやLINE及びInstagramで発信</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td>情報提供</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">情報提供による学びの支援</td></tr>
<tr><td>情報提供による学びの支援への効果</td><td colspan="5">・孤立化や，子育てに悩む保護者の不安や負担等の軽減。
・イベント等を通じ地域間でつながりを持つことで生まれる子どもへの健全な育ち・成長。</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="5">生涯学習情報提供システム</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="5">・はぐはぐ柏については，サイトの利便性向上とともに，LINEやInstagramからも誘導し，サイトのアクセス数向上を図った。
・LINEについては，令和7年3月31日時点で登録者数は8,870人。また，月齢・年齢別の子育て情報を配信する「年齢別セグメント配信」及びメニューから手続きや予約ができる「こどもの手続・予約」機能を追加し，市民サービスの向上を図った。
・令和4年9月より「はぐはぐ柏Instagramアカウント」を開設，令和7年3月31日時点でのフォロワー数は3,666人。Instagramの特徴を活かし，柏市の子育て情報やその魅力について，写真や動画を中心とした視覚的な配信を行った。また，令和5年12月からのトライアル運用を経て，令和6年度より市民ライター「はぐはぐ柏Instagram公式アンバサダー」による当事者目線での子育て情報発信を開始。令和6年度の投稿本数は，「はぐはぐ柏Instagram公式アンバサダー」9名により34本だった。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>有り</td><td>理由・効果</td><td colspan="3">トライアル運用を経て，令和6年度より市民ライター「はぐはぐ柏Instagram公式アンバサダー」による情報発信を本格始動したため。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td>指　標</td><td>基準</td><td>目標（R7年度）</td><td colspan="2">実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td>子育て情報サイト
「はぐはぐ柏」PV数</td><td>1,633,294PV</td><td>2,200,000PV</td><td colspan="2">1,724,657PV</td></tr>
<tr><td>「はぐはぐ柏」
LINE公式アカウント登録者数</td><td>3,802人</td><td>9,660人</td><td colspan="2">8870人</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="3">はぐはぐ柏閲覧目標数の達成率が約78%となっており，達成はしていないものの，基準値に対しては約106%であったため。またLINEについては，令和5年度よりアカウントを移行しているため同一指標での評価は難しいが，アカウントの移行から約2年で登録者数は8,870人となり（移行前は7,875人），目標数の達成率が約91%，基準値に対して約233%となっている。さらに「はぐはぐ柏Instagram」では，市民ライターによる当事者目線での子育て情報の発信を本格化し，令和6年度のフォロワー数が前年比162%(2,269人→3,666人)の増加となったことから，評価は○とした。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">生涯学習情報提供システム</td><td>担当課</td><td colspan="2">生涯学習課</td></tr>
<tr><td>事業概要</td><td colspan="6">柏市内（近隣市）の生涯学習に関する情報（講座・イベント，団体等）を探したり，掲載したりできるサイト。官民問わず情報を提供</td></tr>
<tr><td>計画への位置付け</td><td colspan="2">情報提供</td><td>主な事業の位置付け</td><td colspan="3">情報提供による学びの支援</td></tr>
<tr><td>情報提供による学びの支援への効果</td><td colspan="6">多くの市民が閲覧しやすい情報を提供することで，生涯学習活動を活性化させ，コミュニティ形成の一助とする</td></tr>
<tr><td>連携・関連事業</td><td colspan="6">子育て支援情報提供事業</td></tr>
<tr><td>R6年度の取組</td><td colspan="6">生涯学習情報提供システムでは，生涯学習に関する団体・サークルや，生涯学習ボランティアの登録者が各自で活発に情報発信した。</td></tr>
<tr><td>R5年度からの変更</td><td>無し</td><td>理由・効果</td><td colspan="4">―</td></tr>
<tr><td rowspan="3">進捗状況
（数値が適さない場合は説明も可）</td><td colspan="2">指　標</td><td colspan="2">基準</td><td>目標（R7年度）</td><td>実績（R6年度）</td></tr>
<tr><td colspan="2">閲覧数</td><td colspan="2">90,000件</td><td>100,000件</td><td>62,963件</td></tr>
<tr><td colspan="2">新規情報提供数</td><td colspan="2">－</td><td>120件</td><td>75件</td></tr>
<tr><td>総合評価</td><td>○</td><td>評価の理由</td><td colspan="4">らんらんかしわにおいて新規情報提供数は増加しているが，閲覧数が基準値を下回っているため。</td></tr>
</table>

事業名	ライフスタイルに合わせた学習コンテンツの提供	担当課	生涯学習課	
事業概要	公民館・近隣センター等における受講，自宅でのPC受講など，さまざまなツールを利用できる学習コンテンツの提 報提供を行うことにより，ライフスタイルに合わせた学習機会を拡充する。			
計画への位置付け	情報提供	主な事業の位置付け	情報提供による学びの支援	
情報提供による学びの支援への効果	ライフスタイルに合わせた多種多様な学習機会を提供することで，個々人の学習活動を支援し，自己実現を図れ を整える			
連携・関連事業	―			
R6年度の取組	家庭教育支援事業「みんなの子育て広場」における活動者に向けた研修会にて，当日の会場受講の他，市のYou アカウントでの視聴という受講方法も用意し，各自のライフスタイルに合わせて受講スタイルが選択できるようにし また，様々な主体が開催する学習情報を提供し，学習活動の支援を行った。			
R5年度からの変更	無し	理由・効果	―	
進捗状況 （数値が適さない場合は説明も可）	指　標	基準	目標（R7年度）	実績（R6年度）
	提供数	－	1以上	1
総合評価	◎	評価の理由	主催事業にて，複数の受講スタイルを選択できるよう取り組んだた	

供と情
る環境
Tube た。
)
)。